# 第64回 Kozoom28「美術展での出会い」

芸術の秋と言われながら今年は記録的な酷暑続きで、 10月に入っても30度を超える日が多かった。それでも各所 で既に予定されている美術展が開催されてきた。

その中の一つに私の所属する創造美術協会は第78回創造展を大阪市立美術館(旧天王寺美術館)で開催された。 3年間耐震と改装工事のため閉館していたので、久しぶりの美術展とあって多くの来訪者で賑わった。創造美術協会は今回会員1人で複数展の出品が可能となったことや、一般公募者も多数の出品があり、絵画で131点 彫刻で38点が展示された。

私は長く協会の役員として彫刻の審査員を務め、授賞 する役目を担ってきたが、今回はその功績を含めて美術 館長賞を頂戴し受賞する立場になって表彰式に臨んだ。

対象の作品は「絆の輪シリーズ」でほぼ同じ 大きさの作品を揃えたもの4点と、仏教国ビルマ(現ミヤンマー)の僧がまとう赤褐色の袈裟 と托鉢を持つ人物像を加えた5点を出品した。

表彰式後の懇親会に、私のテーブルの隣に 絵画部から100歳の女性がスピーチに立たれ た。その言動の力強さに驚きもし元気をもらっ た。早速スマホで写真を撮った。

一方 協会誌に投稿されたエッセイを拝 読し、社会との繋がりを持ち続け生きていく事 の大切さを感じた。ちなみに私のエッセイも掲 載されているのでご高覧願いたい。

今年の6月中旬には在住する八尾市で恒例の第68回の八尾美術展が開催され、一般の公募を含めコロナ禍以前に戻ってきたようで、多くの出品が出揃った。その中に、10数年も前に同じ絵画クラブで一緒に絵を描いて

## 清水健二



表彰式で受賞



出品作品(大学時代の友人と)



100歳のスピーチ

# 和造美術 #78回根 AMM REST PS U 2025.8.17~9.21

### 思い出数々

前田慶子

人間って何故こんなにバカなんでしょうか?又々戦争が始まってますね。アレだけ朝ドラの画面で、テレビ新聞面で目にしたりしていても、バカな事と分かってるのに、同じ事を繰り返すのは何故でしょう。そして大切な人を亡くして悲しむのは! それに引きかえ自分の心の中に楽しみを抱きかかえて居る創造という集団はナント素敵な場所だろう。周囲に少しも迷惑をかける事はないし、心は安らかにはなるし、思い出の品は残るし。その素晴らしい集団が年に1回皆様と共に集まれる場所が戻って来た、嬉しくワクワク心が躍る。丁度大正15年生れの私は百才になった。創造に入れていただいたお陰で健康で長生きさせて頂けた。皆様我国日本は平和を守り美しいものを大事にしてゆこう。

創造は永遠です。万歳!!

### 最大・最古の美しい摩崖線彫像 清水健-

伊賀から京都へ向かう木津川は、途中笠置山の渓谷を流れる。この地域は巨大な岩が露出し、山中の岩削に摩崖仏が立っている。奈良時代から修業僧が移り住み、信仰の対象として仏を彫ってきた。その中に千年を経て今も美しい姿をとどめている虚空蔵菩薩坐像の線彫り(高さ約10米)を仰ぎ見ることができる。自然の木や岩に神仏が宿ると信じ、命がけで岩場から仏を彫り出す仏師の強い信念に感動したことが、私の仏像彫刻へのエモーショナルな力を呼び起こしてくれている。



# 協会誌からMさんと私のエッセイ

いたT氏が審査員特別賞を受賞し、表彰式に出席されていて私もお祝いの言葉を掛けたが、なんと99歳になられていて、丁寧な筆運びでこの歳で良く描けたものだと思いながら私も負けておれ

ないと感じた。来年100歳にも出品してくださいと激励されていた。

今年2025年の9月現在100歳以上の人口は 99800人で記録更新しつつあるという。

内女性は88%で世界一長寿国である。どこまで伸びるかわからないが、兎に角人生のあり方を考え、人生のラストスパートを幸せで楽しく走り抜きたいものだと思う昨今である。

令和7年10月 記



99歳のT氏の作品